

はっすい 土壤水分撥水防止剤 **ワターイン**

ワターインは、非イオン系の土壤水分^{はっすい}撥水（水をはじく）防止剤です。

水の表面張力を破って灌水や雨水を土の粒子間へ均等に浸透させ、固くなった土も柔らかくして通気を良好にします。

乾燥した土に、素早く水を浸透させます。

下の図が示すように、特に粘土質土壌の固結や有機物が多い土では、いったん乾燥すると水が容易に吸収されない水分^{はっすい}撥水現象が起こり、せっかくの灌水も土へ浸透しません。

ワターインは、このような乾燥した土の粒子間に浸透して、根の回りに均等に水分を供給します。



■乾燥した土

乾燥した土では、水が土^{はっすい}に入らず水分^{はっすい}撥水します。



■ワターイン処理

ワターインで処理すると水が素早く均等に浸透します。

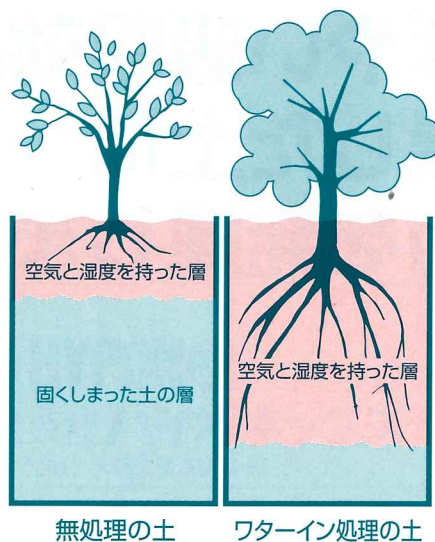
はっすい 土の固結化と水分^{はっすい}撥水を防止。根の生育を助けると共に活着を促進します。

■土の固結化防止

土を耕した後のワターイン処理は、土の固結化防止に最も効果があります。ワターインが、柔らかくほぐされた土の粒子間に溜まって、再度の固結化を防ぎます。その効果は約2～3ヶ月間（諸条件によって異なる）持続します。また、樹木の根が伸長する深い層にまで水分と養分の供給を容易にして根の生育を促進します。

■活着の促進

植え付け、植え替えにおけるワターイン処理は、根の活着に大切な土の柔らかさと、適度な水分を与えます。



無処理の土

ワターイン処理の土

ワターインは、こんなところにも卓越した効果があります。

培養土（育苗、定植用土）の^{はっすい}撥水防止に

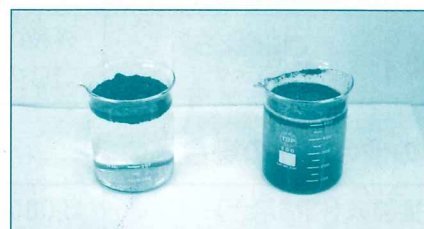
ピートモス、バーク、腐葉土などの有機物は乾燥すると^{はっすい}撥水がひどく、水が容易に均等に浸透しません。ワターインを処理することにより、培養土の浸透性が増し撥水性を防止します。

処理方法

培養土100ℓ当たりワターイン500～1,000倍液を5～10ℓを均等に散布します。

※育苗時には、施用濃度はさらに薄くしてお使いください。

乾燥ピートモス浸透処理



無処理

ワターイン処理

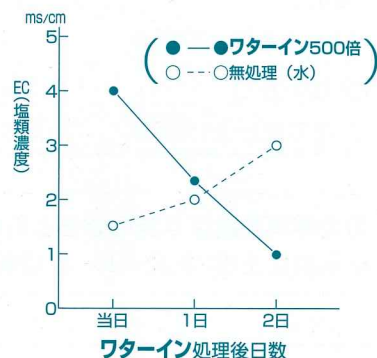
過剰塩類（肥料）の除去に

ワターインは土の塩類の移行を容易にしますので、蓄積した塩類をある程度洗い流すことができます。

特に鉢物などで効果を発揮します。

処理方法

1回灌水した後、500～1,000倍液を1㎡当たり10～20ℓ（鉢物では鉢底から流れ出る程度）を与え、その後灌水を繰り返し過剰塩類を流します。



灌水により溶脱する水の塩類濃度
（カーネーション生産農家の塩類集積土）

根づまり（鉢物、コンテナ栽培）防止に

鉢物やコンテナ栽培では、植物が大きくなりすぎると根づまりを起こして生育が停滞します。

しかし、ワターインはこのような場合にも有効な水分を根の回りに供給しますので、生育を回復させます。

処理方法

500～1,000倍液を5日毎に3回与えます。施用後は必ず灌水してください。



注意



- 飲み物ではありません。飲まないでください。
- 子供の手の届かないところ、ペット類が触れないところに保管してください。
- 使用前には、必ず使用説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。また、使用説明書は大切に保管してください。
- 目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。
- 施用量、施用間隔は目安ですので、お試しのうえ、お使いください。
施用量、施用間隔は、植物の種類、生育状態、気象条件、栽培条件などにより異なる場合があります。
- 使用後は密封し、直射日光や湿気を避けて冷暗所に保管してください。
- 作業終了後は手や顔等を洗い、うがいしてください。
- 農薬と混合すると化学変化を起こすことがありますので、別々にお使いください。
- 製品の性質上、いくぶん色合いが異なったり濁ることがあります。
- 使用済の容器は放置せず適切に廃棄してください。
- 残った原液は、魚類の生息している場所に捨てないでください。
- 使用前に、よく容器を振り、使用方法を守ってお使いください。

ワターインの標準使用方法

- 希釈液の施用量は1㎡当り5～10ℓとし、その後たっぷり灌水します。
- 通常、3ヶ月に1回与えてください。

乾燥しやすい土の改良に		500～1,000倍液を与えます。乾燥のはげしい所や水たまりには量をふやします。
植物を植え付ける前に		土づくりができたなら500～1,000倍液を与えます。
樹木	植え付け時に	植え付ける穴に1,000倍液を満し土へ十分に浸透させた後、植え付けます。その後、再び500～1,000倍液を与えます。
	すでに植えられている場合	外枝の先端の真下附近に、環状溝を掘り、その中へ500～1,000倍液をたっぷり流し込みます。

■ その他の用途の場合

播種床(播種用土) ※ はっすい 撥水する用土の場合	3,000～5,000倍で播種前に施用します。 (ワターイン原液0.01～0.02ml/培土1ℓ)
定植用土 ※ はっすい 撥水する用土の場合	500～1,000倍で定植前に施用します。 (ワターイン原液0.02～0.05ml/培土1ℓ)
液肥との混合	3,000～5,000倍で溶いたものを液肥と混合します。
切り花の色仕上げ助剤	2,000～3,000倍で使用します。

上記の希釈濃度は目安の数値とお考えいただき、お試しのうえご使用ください。

効果期間は土壌、気象条件、栽培条件によって異なりますのでひとつの目安と考えてください。

鉄欠乏による黄化(クロロシス)の治療と予防には

姉妹品

ワターインキレート

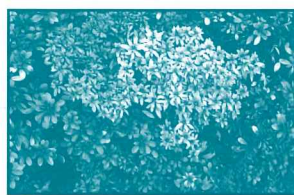
ワターインキレートは、全く新しいタイプのキレート鉄とワターインが配合されたニュータイプの黄化(クロロシス)治療剤です。

■ 特長

植物の緑化、鉄欠乏による黄化治療に効果があります。その効果は非常に速く、しかも長時間(約3ヶ月間)持続します。Fe欠乏を原因とする諸症状に効果があります。

■ 標準施用量

1㎡に500倍液を5～10ℓ (または1㎡に100倍液を1～2ℓ)



■サツキの黄化(クロロシス) → 処理 → 回復

■ 適応植物

サツキ、シャクナゲ、アザレア等のツツジ類
芝生等のグランドカバー。
バラ、リンドウ。
ツバキ、ツゲ等の花木。

取り扱い店

発売元



株式会社 ハイポネックス ジャパン

〒553-0001 大阪市福島区海老江5-1-1

*詳しい資料・使用方法につきましては、下記にお問い合わせください。

農芸プロダクツチーム

●本社 ☎06-6458-9272 ●東京 ☎03-3428-7000

ハイポネックス® HYPONEX® グローア®は、株式会社ハイポネックスジャパンの登録商標です。